

# どうぶつこうえんニユース

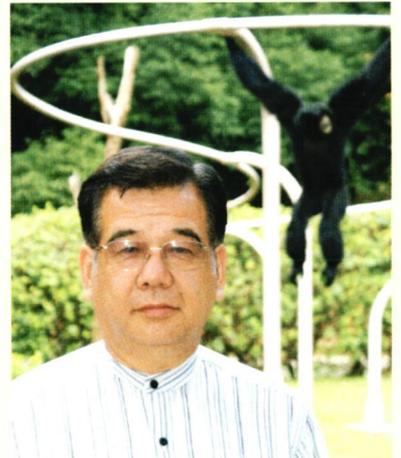


千葉市動物公園  
Chiba Zoological Park

No.61  
2006  
秋

トピックス

## 動物と私……(23)



財団法人 千葉市動物公園協会

常務理事 狩野 誠

私は動物が大好きで、小さい頃から犬や小鳥などを飼い、今でも飼いつけており、芸もします。

この4月からは縁あって動物公園にお世話になり、毎日たくさんの動物と触れあっています。お蔭で、ほとんどの動物の名前を覚えました。

特に類人猿コーナーは、人間の顔とよく似ており、反応を示してくれるので、顔を合わせるのがとても楽しみです。

ある時、園内を巡回していると、子どもがお父さんに「何でフラミンゴは片足で立って寝ているの？」と質問していました。お父さんが、しばらく考え「それは、両足を上げたら倒れてしまうからだろ」と答えている親子の光景を見て、心が和みました。

本当に緑豊かな自然の中で、いい空気を吸いながらいろいろな動物などを見ていると、心が癒されます。

昨年はレッサーパンダの『風太くん』の立ち姿をマスコミで取り上げて頂いたおかげで、千葉市の動物公園が一躍全国的に有名になり、お客様もたくさん見物

に来てくれました。

春は動物の出産シーズンで、双子の風太二世が誕生したのをはじめ、タンチョウヅル、アシカ、フンボルトペンギン、

ワシなどの赤ちゃんが次々に誕生し、ほのぼのとした光景が私たちの目を楽しませてくれています。秋には待望の風太二世がデビューするそうです。

また外に放し飼いのタンチョウヅルを観察していると、子どものために餌を探し、探した餌を子どもに与え、天敵のカラスを追い払いながら子どもを守っています。その光景を見て、子育てのできない人間に是非見て欲しいと思うのは私だけでしょうか。

これからの動物園は、動物の展示だけでなく、動物園に行けば動物のことは何でも分かり、できるだけ来館者の目線に立ち、動物の動きを身近な場所で観察でき、触れあいを感じる楽しい、魅力ある動物園になればいいなと思っています。

是非、皆様のお越しをお待ちしています。

## 目次

CONTENTS

表紙【風太二世】	①
トピックス【動物と私……(23)】	②
特集 子ども動物園より(6)	③
特集【モモタロウ「行動観察日記-2」】	④~⑤
動物科学館の紹介	⑥
動物公園日誌から【'06.4/1~'06.6/30】	⑦
裏表紙【フタユピナマケモノ】	⑧
Information	⑧

## 表紙の動物説明 風太二世

レッサーパンダの出産は、国内飼育園館では珍しいことではないのですが、「風太二世」誕生ということで、市民を中心に注目が集まっています。レッサーパンダは、通常2歳を過ぎると性成熟に達するといわれているため、昨年より出産した場合の準備を進めてきました。1月下旬に交尾を確認しましたので、巣箱に暗視カメラを設置し、6月2日に無事2頭の仔を出産するシーンが撮影できました。2頭(雄・雌)の仔は順調に育成しており、この機関紙が発行される頃には一般公開をする予定であります。

小林 正典 (Masanori Kobayashi)

## 動物飼育数

Classified number of animals  
as of 31.Jul.2006

平成18年7月末現在の飼育数

哺乳類	66種	408点	両生類	1種	2点
鳥類	71種	300点	魚類	0種	0点
爬虫類	6種	31点	総計	144種	741点





# モモタロウ

59号に引き続きモモタロウの遊びについて書いてみます。前回にも触れましたが、遊びには①社会的遊び (Social Play) と②一人遊び (Self Play) があり、ゴリラには①が特に大切で、これがないと一人前の大人の雄にはなれないのです。この遊びは、仲間や特に父子との遊びを通してのみ学ぶことができるものなのですが、通常のゴリラは群れ生活をしているので、その中で自然に学べるのです。しかし、モモタロウには②の「一人遊び」しかないのです。その変化についてまとめてみましょう。

## 1. 2003年2月14日 (31月令) の場合：

生活全体の中では、移動が30%、食事が13%、ふれあいが4%、遊びが52%、休みが1%で、遊びが大半を占めています。問題はその遊びの種類なので、その内容分析をしてみましょう。

1) 木の枝遊び：48分：39% (木の枝を持ったり、口にくわえたりして、床や地面を引きずる、振り回す、壁や扉をたたく、水面をかき回す、皮をかじる等を、立ったり、座ったり、寝転がったりしてやる。)



草遊び



扉の柵遊び

2) 出入り口遊び：25分：20% (箱型の出入り口の、隙間をのぞく、扉をたたく、飛び上がる、逆立ちする、日向ぼっこする等を、出たり入ったり、座ったり、寝転がったりしてやる。)

3) 草 (青草、生えてる草、枯れ草) 遊び：20分：16% (草を手に持ち、口にくわえて振り回す、上に放り投げる等を、立ったり、座ったり、寝転がったりしてやる。)

4) 扉の柵遊び：13分：11% (キーパー出入り口の扉の前でジャンプし、柵につかまり、両足で体を支え、中をのぞく、扉を蹴る、手だけでぶら下がる等をやる。)



木登り

5) かくれんぼ遊び：13分：11% (よく知ってる人のキーパーや私等を見つけると、一番近いところに出てきて、アリ塚を使ってかくれんぼのような仕草をやる。)

6) その他の遊び：5分：3% (タイヤ、かがみ、木登り、人真似等)

# 行動観察日記-2



## 2. 2006年4月11日（69月令）の場合：

遊び全体の時間、種類、ともに減少していました。その内容分析をしてみました。その結果は以下の通りです。

遊び全体の時間の推移は、124分から76分になり、約61%に減少。その種類は9種類（その他の内容も加算）から6種類に減少していたのと、旧の遊びが5種類減り、新が2種類増加していたのです。

- 1) 木の枝遊び：5分：6%
- 2) 出入り口遊び：0（体が大きくなって、中に入りにくくなった。）
- 3) 草遊び：20分：26%
- 4) 扉の柵遊び：20分：26%
- 5) かくれんぼ遊び：0
- 6) 木登り遊び：15分：20%（以前は木の下から登っていたのが、途中から飛びついて登るようになり、どこからでも登れるようになったし、飛び降りられるようになった。上では隣のモンタが気になるようで、しきりにのぞいている。）
- 7) 砂遊び：8分：11%（1階と2階の境の土が細かくなったのを両手ですくって体にかけてたり、右手ですくったのを上から落とし左手で受けたりを何度も繰り返す。結構器用だ。）



砂遊び



ボール遊び



木に吊した麻袋で遊び

- 8) 水遊び：8分：11%（池の中に入って両手でかき回したり、水道道に座り込んで両手をばしゃばしゃやったり、たくさんの水を大きくなった両手（比べたら私の約1.5倍あった）と全身を使って遊んでおり、前のように木の枝を使ったりしない。）

## 3. 考察：

以上31月令の行動観察と69月令のそれとの単純比較を「遊び」において実施してみたのですが、その内容において以下のような考察が可能であろうと思われます。

- 1) 体の成長に伴って遊びも変化するので、運動量の増加や知能の進歩を考慮した対策も必要なのではないでしょうか。
- 2) 一人遊びはもう限界にきています。やはり「社会的な遊び」の可能な状況を早く造りだすことが望まれます。

日本霊長類学会 京大院人類進化論研究室

千葉市動物公園飼育課実習生 猪尾武達

# 動物科学館の紹介

動物公園の中央広場の近くにある白い2階建ての建物が動物科学館です。



動物公園の基本理念である、楽しみながら学ぶための施設で類人猿展示室、夜行性動物展示室、小型サル展示室、バードホールとそこにいる動物の説明を行う6つの展示室のほか、レクチャールーム、図書室、特別展示室などからなる複合施設で、ゾウの骨格標本や園内の施設紹介を兼ねた最新の話題の紹介をするビデオコーナーなどもあります。

2階の特別展示室では自園のことのほか、ボランティア団体やNPO法人の活動紹介などにも使われています。

今回はこの動物科学館の中のバードホールを紹介します。



動物科学館の西側に位置する、地上3階建てに相当する高さを持つガラス張りの265㎡の大きな空間にガジュマルや観葉植物を植栽し、熱帯雨林を再現した作りになっており、水鳥、地上性の鳥など13種



類40羽の鳥が自然の状態で暮らしています。現在はガラスの上部にバードホールのシンボルマークになっているオニオオハシの大きなマークが付けられていて、モノレール乗車時によく見えます。

また、一定の湿度を保ったり、植物の散水用に天井に散水栓が付けられており、散水した時などはさながらスコールの降るジャングルにいるかのようです。

鳥達は自由にこの空間で暮らしているわけですが、臆病な鳥は葉の陰などに隠れてよく見えないことがあります。2時頃になると鳥達の食事の時間になりますので鳥達を間近に見られる時間です。

そして今、バードホールにはフタユピナマケモノが3頭暮らしています。南アメリカに住む夜行性の動物で、普段は木にしがみついて休んでいます。体の色が木の幹と同じ色なので見つけにくいのですが、がんばって見つけてください。もちろん2時の食事の時間になりますと木から降りてきて手すりです食事をしますから、その時はよく見えます。



宮川 千尋 (Chihiro Miyakawa)



# 動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

## '06年4月1日~'06年6月30日

- 4月1日 ケープペンギン (雛)、日中屋外へ出ている
- 4月2日 シロガオマーモセット (6)、アフリカヘラサギ (2)、ムギワラトキ (1)、エミユウ (1)、搬出
- 4月4日 オジロワシ、孵化
- 4月5日 タンチョウ、産卵  
オジロワシ、孵化
- 4月11日 フンボルトペンギン、孵化
- 4月12日 フンボルトペンギン、雛(2羽)確認
- 4月14日 ニシローランドゴリラ、モモコ親子とモンタ格子越しに顔合わせをする モンタとモモタロウは手を出したりして遊んでいる
- 4月16日 パラワンコクジャク (雌)、他の雌に追われ何度も観客通路に逃げる
- 4月17日 チンパンジー、放飼場に消防ホースを設置  
レッサーパンダ、体重測定 (雄: 6.6kg、雌: 7.0kg)
- 4月18日 オジロワシ (4月5日孵化)、死亡
- 4月21日 ワタボウシバンシエ、繁殖 (2頭)
- 4月22日 オジロワシ (4月4日孵化)、死亡
- 4月24日 ニシローランドゴリラ、モモコ親子とモンタ格子越しにお見合い
- 4月25日 ワタボウシバンシエ (1頭)、大森山動物園へ搬出



- 4月28日 **ホンダザル、繁殖 (1頭)**  
ニシローランドゴリラ、モモコ親子とモンタの顔合わせを3回する モモコは2回、モンタは少し飽きた様子
- 5月1日 子ども動物園、ウマ類全頭削蹄
- 5月6日 シロガオマーモセット、繁殖 (2頭)
- 5月7日 プレリードッグ、体重測定 (雄: 820g、雌: 860g)  
ニシローランドゴリラ、体重測定 (モモコ: 125.5kg)
- 5月8日 モモコとモモタロウを分ける練習をする モモコは最初よく鳴いている  
レッサーパンダ、体重測定 (雄: 6.6kg、雌: 7.4kg)
- 5月9日 タンチョウ、孵化 (1卵)
- 5月12日 ヘビクイワシ、産卵
- 5月13日 ホンドザル、繁殖 (1頭)
- 5月14日 ワオキツネザル、雄1頭が群れからはじかれたため隔離
- 5月15日 レッサーパンダ、体重測定 (雄: 6.6kg、雌: 7.6kg)、巣箱に麻袋、ワラを入れる
- 5月17日 レッサーパンダ、本日より雌の巣箱を夜間撮影する  
アビシニアコロボス (1頭)、仙台市八木山動物公園より新着
- 5月21日 3階の巣箱にオニオオハシと思われる卵が3個あった  
ホンダザル、繁殖 (1頭)
- 5月22日 オニオオハシ、餌をつける際に攻撃してくる  
草原B、ヒマワリの種まき
- 5月23日 オニオオハシ、巣箱に入っている
- 5月28日 ウミウ、緊急保護
- 5月29日 ウミウ、死亡  
レッサーパンダ、体重測定 (雄: 6.6kg、雌: 7.9kg)
- 5月30日 チンチラ、繁殖 (2頭)



- 5月31日 レッサーパンダ (雌)、巣箱に入っていることが多い  
シロガオマーモセット、繁殖 (2頭)  
フタコブラクダ (雄)、鼓張症のため起立不能 胃内ガスの排出等を行い、人力で収容
- 6月2日 フタコブラクダ (雄)、死亡
- 6月3日 レッサーパンダ、繁殖 (2頭) 録画記録では6月2日の午後7時頃出産したよう 母親の子どもの面倒見は良好
- 6月4日 ヒツジの毛刈りを実施
- 6月8日 シマウマ、腰麻痺予防薬投与
- 6月12日 ニシローランドゴリラ、モモコ親子、モンタ午前中お見合い  
オニオオハシ、採卵するが無精卵  
マンドリル (雌)、性皮腫脹最大  
ココノオビアルマジロ (雌)、死亡  
レッサーパンダ (雌)、巣箱から出て餌を食べる姿がよく見られる 周囲を気にしていない様子
- 6月13日 アジアゾウ (雌)、ターゲットトレーニング時に棒の先にヤスリをつけて爪を削るのを試してみる



- 6月18日 **カリフォルニアアシカ、繁殖 (1頭)**
- 6月19日 カリフォルニアアシカ、授乳確認
- 6月20日 県立幕張総合高校、職場体験実習
- 6月23日 ショウジョウトキ、産卵 (1卵)
- 6月24日 ヘビクイワシ、孵化 (2羽)
- 6月26日 キジ目、ワシタカ目、ニューカッスル予防接種  
ヘビクイワシ、孵化 (1羽)
- 6月29日 カンムリバト、孵化 (1羽)  
千葉県立更科中学校、職場体験実習  
浅野 洋之 (Hiroyuki Asano)

## 編集後記

今年の梅雨は異常気象により、全国各地で大雨による被害があり、梅雨明けも大幅に遅れました。被災地の方々におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

当動物公園では大きな被害もなく、動物たちも元気に過ごしています。レッサーパンダの「風太」の双子もスクスクと育っています。皆様にお会いできる日を楽しみにしています。職員一同、皆様のお越しをお待ちしています。ステキな名前を付けてくださいネ!

なお、次回の発行予定は12月1日です。

名和 全孝 (Zenkou Nawa)



カンムリバトの子



## Information

平成18年9月・10月・11月の  
催し物一覧

- ★ 9月10日㊦ ワンポイントウォッチング (ゴリラ)
- ★ 9月23日⊕ 折り紙教室
- ★ 9月24日㊦ ワンポイントウォッチング (マーモセット)
- ★ 10月1日㊦ 写真教室
- ★ 10月8日㊦ 写真教室 (聴覚障害者対象の教室)
- ★ 10月14日⊕ 紙芝居会
- ★ 10月15日㊦ ワンポイントウォッチング (アビシニアコロブス)
- ★ 10月29日㊦ Zooクイズラリー
- ★ 11月12日㊦ ワンポイントウォッチング (ハゴロモヅル)